



ササユリ

中学校副校長 池田利夫

あぶらひ

ゆり

糸

「油火の光に見ゆる我がかづら さ百合の花の笑まはしきかも」…万葉集にある大伴家持の歌です。その解釈は、油火の光に映えて見えるさ百合（ササユリ）の髪飾りがほほえましいことです、といったところでしょうか。家持が宴席で贈られたササユリの髪飾りを詠んだ歌といわれています。万葉の人々は男性も髪飾りをするほど美的センスに富んでおり、ササユリは身近な花だったようです。しかし、最近のごくまれにしか見られない花になってしまいました。

ササユリは、環境の変化に敏感で栽培がとても難しいのです。また、たいへん美しい花であるために盗掘をされることも少なくなく、最近ではめったに見ることができないほど減少しています。花言葉のとおり、本当に「上品」で「希少」な花なのです。

私もいつか見てみたいものだと思っていました。そこで、今年の休日を利用してササユリの花を見に出かけました。登山道を登りながら探すこと2時間。ササユリを全く見つけることはできません。ササユリは見つからなかったけど、せっかく行膝（むかばき）の山まで来たのだからと、とりあえず山頂を目指しました。



山頂につきました。断崖絶壁です。恐ろしいほどの高度感です。山頂の端付近は慎重に行動しないと危険です。安全な場所を確保し、休憩です。可愛岳、大崩山系、日向灘の大海原…絶景が広がります。登山の疲れも一気に吹き飛びます。

そこへ登ってきた山ガール（女性登山者）が、我が家のちびっ子たちと私に声をかけてきました。「何年生？、どこから来たの？」…『佐世保です』…「ええ～！」…（心の中＝いくら遠方の佐世保からだといっても、そんなに驚かなくても）…「佐世保のどこ？」…（えっ、佐世保のどこって。すぐ近くじゃないけど、ランドマークでいえばパールシーかな？）…『パールシーがわりと近いです』…「ええ～！」…（またまた、そんなに驚かなくても）…「私、鹿子前のストアーでアルバイトをしていました」…『ええ～！』…（今度はこちらが驚く番でした）…『佐世保出身ですか？』…「いいえ。佐世保で大学生活を過ごしました」…（なるほど）。彼女はひとしきり、佐世保をなつかしく語りました。佐世保愛が伝わってきました。

故郷を離れた人は望郷の念がことさら強くなると聞きます。大学生時代を過ごした場所は故郷ではありません。しかし、初めて親元を離れて住む大学時代を過ごした街は第二の故郷となるのでしょうか。「ああ～、佐世保がなつかしか～」と、佐世保弁も飛び出していました。

そして、最後は「佐世保から来られたのなら…ぜひ、ササユリを見て帰ってください。いっしょに探しましょう」と。彼女は双眼鏡を取り出して、ササユリを熱心に探してくれました。そして、「あった！あそこ」。おしえられた場所には、呼称の由来となったとおりに笹の葉のような葉を持ち、

淡くピンク色に染まった「上品」で「希少」なササユリの花（写真）がありました。人が近づけない断崖絶壁にへばりついて咲いていました。『ありがとうございました。おかげでおめあてのササユリを見ることができました。大満足の登山となりました』。お礼を言って別れました。「故郷・佐世保」のおかげでもありました。

北中生・北高生の皆さんも、多くの方が佐世保を離れて進学する時がきます。あなたの第二の故郷となる地はどこでしょう。そこで、あなたが故郷と同じように地に足をつけて勉学に励み、友情を深め、青春を謳歌し、いつまでも心の支えとなる思い出の地にしていくことを心から念じております。

第101回 全国高等学校野球選手権記念長崎大会

高校野球部顧問 飯田 大輔

私たち野球部は、7月11日（木）に開幕した第101回全国高等学校野球選手権記念長崎大会に出場しました。今年のチームは3年生の山口主将を中心に、選手とマネージャー37名が一丸となって、県大会優勝・甲子園出場を目標に日々の練習に取り組んできました。この夏の大会に照準を合わせ、朝練や放課後の限られた練習時間の中で、工夫を凝らしながら練習に励んできました。その結果、最後まで諦めず、粘り強く試合に臨むことができました。

7月14日（日）の佐世保市総合グラウンド野球場での1回戦では、島原中央高校に5対2と逆転勝ちをしました。我慢の時間が続きましたが、エラーをすることなく、逆転勝ちを収めることができたのも、部員の日々の努力の賜物と、当日猛暑にも関わらず、多くの一般生徒や保護者の皆さま、先生方に応援に来ていただいたからです。皆さまの温かい応援が、選手たちの大きな励みとなりました。この場を借りて改めてお礼申し上げます。



続く7月17日（水）の長崎県営野球場での2回戦では、長崎総合科学大学附属高校に2対5と逆転負けを喫しました。試合に負けはしましたが、選手は最後まで諦めず、のびのびとプレーに集中することができました。たくさんのご声援ありがとうございました。

生徒にとって悔しい結果になりましたが、これまで培ってきた努力と経験は大きな自信となり、今後の支えとなるはずです。3年生は今大会で引退となりましたが、この経験を生かし、進路実現に向けさらに頑張ってください。また、1・2年生は先輩たちの意志を受け継ぎ、甲子園出場を目標にこれからも日々精進してまいります。

長崎県吹奏楽コンクール

中高吹奏楽部顧問 柳本ますみ

今年も吹奏楽部の暑い夏がやってきました。長崎県吹奏楽コンクール高等学校の部が7月21日、中学校の部県北大会が7月28日に、どちらも地元アルカスSASEBOで行われました。

高校吹奏楽部は課題曲とチャンス作曲「朝鮮民謡の主題による変奏曲」を演奏しました。これまでの練習において立てた自分たちの目標とする演奏を目指し、心を一つにして演奏しました。結果は金賞。九州大会出場はなりませんでしたが、終了後の3年生の満足した表情が印象的でした。

中学吹奏楽部は4月に楽器を始めた1年生16名を含む33名で出場し、課題曲と高橋宏樹作曲「ザ・タイムズ」を演奏しました。ステージ袖では、前に演奏している団体の音を聴きながら緊張して待ちました。そして、いよいよ演奏。日頃練習してきたことを思い出し、落ち着いて演奏をすることができたと思います。結果は金賞、県大会出場。

これまで練習を支えてくださり、当日も会場で応援いただいた保護者の皆様本当にありがとうございました。今後も体育祭、文化祭、吹奏楽祭、アンサンブルコンテストなどがあります。1年後さらに成長できるよう頑張ります。今後ご支援よろしくお願いたします。

中学1年(16回生)生活体験学習

中学1学年主任 沢目 孝一郎

7月23日(火)・7月24日(水)の1泊2日で、壱岐市に生活体験学習(しま体験)に行ってきました。前日までの雨もあがり、貸切バスが唐津東港に近づくにつれて空も晴れていきました。唐津東港からは、今年4月に就航したばかりのフェリー『ダイヤモンド壱岐』に乗船し、2時間余りの船旅を楽しみました。海は穏やかで船もほとんど揺れることなく壱岐の印通寺港に到着すると、壱岐市の観光連盟や宿の方々が、大きな横断幕で迎えてくださいました。いきのしまホールで行われた入島式には、壱岐市の副市長をはじめ、観光連盟等多くの方々が歓迎してくださいました。

入島式の後、ツインズビーチでの海水浴と並行して、浜辺の加工場でのアジ開き体験にクラス毎に挑戦しました。あらかじめ頭を落として内蔵も取り除いてあるアジを背骨に沿って切り開き、塩水につける作業でした。生魚に初めて触るため、苦勞している生徒もいましたが、何とか全員作業を終えることができました。ツインズビーチでの活動の後は、3つの民宿にクラス別に移動して、それぞれ釣り体験やバーベキュー、花火等で親睦を深めました。



翌日は、猿の形をした岩『猿岩』を訪れた後、一支国博物館を見学しました。縄文時代から現代までを通史的に学習できる設備が整っており、生徒達は壱岐の歴史や文化を様々な形で学び、隣接する原の辻遺跡もバスから見学することができました。帰りのフェリーの出港時には、壱岐の人々が生徒一人に一つの紙テープを用意して下さり、島の人々と北中生が紙テープでつながる感動の別れとなりました。2日間でしたが、壱岐の皆様の手厚いもてなしで、充実した生活体験学習になりました。壱岐の皆様、保護者の皆様、ありがとうございました。

中学3年生(14回生)研究所訪問

中学3学年主任 黒須 広幸

7月11日(木)、中学3年生は3つのコースに分かれて、県内の研究所を訪問しました。1コースは「長崎総合科学大学工学部」「長崎大学熱帯医学研究所」を訪問しました。長崎総合科学大学工学部では、ロボット工学に関する話や、ロボコン用に作られたロボットやマイコンカーなどを実際に操作する体験をすることができました。長崎大学熱帯医学研究所では、ミュージアムを見学しながら、蚊やエボラ出血熱や防護服などの説明を聞いたり、発展途上国の医療の現状について知ることができました。2コースは「日本銀行長崎支店」「長崎大学水産学部」を訪問しました。日本銀行では、行内を見学しながら日本銀行の役割や仕事についての説明を聞きました。実物の紙幣を用いての偽造防止技術の説明では、みんな紙幣を食い入るように見つめながら、興味深く説明を聞いていました。長崎大学水産学部では、珍しい深海の生物を集めたミュージアムを見学したり、佐世保北高出身の教授による丁寧な質疑応答がありました。3コースは「長崎国際大学薬学部」「長崎県窯業技術センター」を訪問しました。長崎国際大学では、創薬に関する興味深い話を聞くことができました。長崎県窯業技術センターでは、陶磁器を作るための最先端の技術や、3Dプリンター技術を見学することができました。

どの研究所にもとても丁寧に受け入れていただき、感謝と充実感を胸に帰路につきました。この体験を進路選択の1つの手がかりとして、考えを深めて欲しいと思います。



<8月後半の主な行事予定>

- | | | | |
|-----|------------------------------|-----|-----------------|
| 17日 | 【中学】第1回学校説明会 | 23日 | 【中学】体験入学(授業見学会) |
| | 【高校3年】大学別模試(～18日) | 28日 | 体育祭予行 |
| 19日 | 開始式、【中学】夏季課題確認テスト【高校】校内実力テスト | 31日 | 体育祭会場設営 |
| 20日 | 【高校2年】校内実力テスト | | |